



2学期を振り返って

校長 芝原 にはほ

早いもので、令和6年もあと10日となりました。子ども達との会話も、クリスマスプレゼントのことやお正月のことが多くなり、年末年始を楽しみにしていることがよく分かります。「サンタさんの手帳に×がつくよ。」は、最近の子ども達にも効き目があるようです。

年末がやってくるということは、学年でいうと、四分の三が過ぎたこととなります。学級数が減り、職員数が半分になって、不安だらけでスタートした令和6年度も「大過なく」どころか、大きな成果を上げることができています。運動会や持久走大会での子ども達の頑張りはもちろんですが11月27日に本校で開催した「運動大好き“かごしまっ子”」育成推進事業推進校としての研究公開では、南界の子ども達、PTAの力を実感することができました。参加された先生方からいただいた感想を紹介します。

- ・ 跳び箱で何度も躓いても、また頑張る（顔晴る）子どもの姿に、勇気をもらいました、自分が同じ状況なら、恥ずかしさなどにより諦めています、貴校の子どもたちの素晴らしさですね。
- ・ タブレットを見ながら、「違いが分かった。（肘を）真っ直ぐするんだね。」と、いい表情でつぶやいていたのがとても良かったです。
- ・ 職員も少ない中、大変なご苦勞もあったかと思えます。この研究が、運動大好きな子供たちを育てることに留まらず、地域とのつながり強化や職員の同僚性の向上等、様々な好影響があったことを感じることでした。本当にお疲れ様でした。
- ・ たくさんのPTAの方々のご協力、ありがとう御座いました、くれぐれもよろしくお伝えくださいませ。
- ・ 授業、発表、ありがとうございました。PTAの方からのお土産も大変嬉しかったです。
- ・ 今日は少し寒かったですが、暖かい飲み物まで準備していただき、学校、PTA、地域の方々に感謝です。
- ・ PTAの皆様の協力もあって素晴らしいでした。地域と共にある学校を強く感じました。
- ・ 保護者も含め、全校体制でしたね。お疲れ様でした。シクラメンも素敵でした。
- ・ 先生方、子供たち、保護者や地域の方々の温かさが伝わってきました。



本校の子ども達の学習に向かう姿勢を「やや主体性に欠ける」と評価してきましたが、この研究をとおして、子ども達自身が課題を見つけ、互いに学び合う姿を見ることができました。元々素直で真面目な子ども達。主体的に学ぶ態度を身に付けることで、さらに伸びてくれるものと期待しています。

そして「教員研修なのにPTAの方を頼るのは…」とと思っていましたが、保護者のみなさんが快く、主体的に協力していただきました。来てくださった先生方に、南界PTAのすばらしさをお伝えすることができて、むしろよかったと思っています。このPTAの力は、これまでの先輩方、つまり地域のみなさんのおかげです。天晴れ！南界！！ありがとうございました。

みなさん、よいお年をお迎えください。

